

令和５年度 事業報告書

自：令和５年４月１日 至：令和６年３月３１日

I 公益目的事業

公益目的事業 日本の精神文化・伝統芸術である詩歌吟詠を普及振興・継承する事業
日本の精神文化である詩歌吟詠を受け継ぐ人材の育成・自主公演・一般国民への普及啓発活動を行う。

1 普及啓発吟詠発表会（普及啓発吟詠活動）

（１）普及吟詠発表会

「普及吟詠発表会」を地区又は団体において開催、これを支援した。

2 少年少女吟詠大会（青少年吟詠大会）・尚歯会吟詠大会（高齢者吟詠大会）

（１）少年少女吟詠大会（青少年吟詠大会）

「少年少女吟詠大会」を中学生以下の者を対象に、感染症対策を講じて、以下のとおり開催、これを支援した。

①令和５年５月３日（水祝）東京 小岩アーバンプラザ

（２）尚歯会吟詠大会（高齢者吟詠大会）

「尚歯会吟詠大会」を７０歳以上の者を対象に、感染症対策を講じて、地区または団体において開催、これを支援した。

3 詩吟の指導者・継承者育成事業（師範位を認定する審査・研修事業）

（１）準師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

認可団体及び認承団体の資格審査申請に基づき、２３７名に認定証（許證）を交付した。

（２）師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

認可団体及び認承団体の推薦により、全国から受審者を募集し、感染症対策を講じて、「師範審査会」を以下の会場で開催し、資格審査合格者７８名に認定証（許證）を交付した。

①札幌会場：令和５年 ８月２３日（水）北海道立道民活動センターかでの２・７

②東京会場：令和５年１０月 ７日（土）吟道会館

③大阪会場：令和５年１１月１６日（木）ホテルアウィーナ大阪

④沖縄会場：令和６年 １月２７日（土）アイム・ユニバースてだこホール

⑤東京会場：令和６年 ２月 ３日（土）吟道会館

（３）正師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

認可団体及び認承団体の推薦により、全国から受審者を募集し、感染症対策を講じて、「正師範審査会」を令和５年９月９日（土）吟道会館（東京）で開催し、資格審査合格者３０名に認定証（許證）を交付した。

（４）上席師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

認可団体及び認承団体の推薦により、全国から受審者を募集し、感染症対策を講じて、「上席師範審査会」を令和５年６月３０日（金）木村岳風記念館（長野）で開催し、資格審査合格者１３名に認定証（許證）を交付した。

4 吟詠教本の作成頒布

吟詠教本・教材シリーズの作成頒布

『吟詠教本 漢詩篇（一）～（三）』、『普及版吟詠教本 漢詩篇（一）～（三）』、『吟詠教本 和歌篇（上）（下）』、『吟詠教本 俳句・俳文・俳諧紀行文・俳諧歌・近代詩篇』、『吟詠教本 律詩・古体詩篇（上）（下）』、『吟詠教材シリーズⅠ 俳諧歌撰』、『吟詠教材シリーズⅡ 御製歌・今様・俳諧紀行文・近現代詩・慶弔詩歌篇』、『新装新版愛吟集』等を作成し、希望者に頒布した。

5 機関誌『吟道』の発行

機関誌『吟道』に事業計画及び収支予算書、事業報告及び決算報告書、主たる行事の紹介、吟道の指導及び詩歌吟詠に関すること、団体の活動状況、詩歌関連の投稿、少年少女会員の投稿その他を掲載し、年12回発行して会員と関係団体及び国立国会図書館並びに希望者に配布した。

6 全国吟道講座・地区吟道講座・特別講座・木村岳風記念館吟詠講座

(1) 全国吟道講座

「第68回夏季吟道大学講座」を感染症対策を講じて、令和5年7月22日（土）～23日（日）日本教育会館（東京）において開催した。全国から会員及び会員以外の詩吟愛好者570名が参加した。

(2) 地区吟道講座

①「地区吟道講座」を感染症対策を講じて、全国9地区（北海道・東北・神静・長野・中部・北陸・近畿・中国四国・九州）の10会場で開催した。

総本部講師と各地区の講師計3名により実施した。

- i 令和5年 9月10日（日） 北陸地区 アイザック小杉文化ホール ラポール（富山）
- ii 令和5年10月 1日（日） 中部地区 津島市文化会館（愛知）
- iii 令和5年11月 5日（日） 東北地区 天童市市民文化会館（山形）
- iv 令和5年11月12日（日） 北海道地区 道新ホール（北海道）
- v 令和5年11月23日（木祝） 長野地区 上田市丸子文化会館セレスホール（長野）
- vi 令和5年11月23日（木祝） 中国四国地区 東広島芸術文化ホールくらら（広島）
- vii 令和5年12月 2日（土） 近畿地区 クレオ大阪中央ホール（大阪）
- viii 令和6年 1月27日（土） 神静地区 小田原市民ホール（神奈川）
- ix 令和6年 1月28日（日） 九州地区 アイム・ユニバースてだこホール（沖縄）
- x 令和6年 2月23日（金祝） 九州地区 アザレアホール須恵（福岡）

②「地区吟道講座の講師研修会」を感染症対策を講じて、令和5年4月18日（火）～19日（水）吟道会館（東京）において開催した。

(3) 特別講座

- ①「吟道会館特別講座」は、事業計画どおり休止した。
- ②「日本詩吟学院公開講座」を感染症対策を講じて、吟道会館（東京）において毎月開催した。
- ③ 優れた指導者の育成を目的とし、第四期及び第五期院生を対象とした「吟道修学院」を感染症対策を講じて、吟道会館（東京）において開催した。

(4) 木村岳風記念館吟詠講座

「木村岳風記念館特別講座」は、事業計画どおり休止した。

7 中国移動教室・国内移動教室

(1) 中国移動教室

「中国移動教室」は、事業計画どおり休止した。

(2) 国内移動教室

「国内移動教室」は、事業計画どおり休止した。

8 地区吟詠大会・地区師範吟詠大会

(1) 地区吟詠大会

「地区吟詠大会」を感染症対策を講じて、10地区10会場で開催し、「全国吟道大会」及び「全国優秀吟者吟道大会」の地区予選を行った。

- ① 令和5年4月13日（木） 神静地区 三島市民文化会館（静岡）
- ② 令和5年4月16日（日） 北陸地区 アイザック小杉文化ホール ラポール（富山）
- ③ 令和5年4月29日（土祝） 東北地区 いわて県民情報交流センターアイーナ（岩手）
- ④ 令和5年4月29日（土祝） 長野地区 茅野市民館（長野）

- ⑤ 令和5年5月 1日(月) 関東地区 杉並公会堂(東京)
- ⑥ 令和5年5月13日(土) 近畿地区 高槻城公園芸術文化劇場 北館中ホール(大阪)
- ⑦ 令和5年5月14日(日) 北海道地区 道新ホール(北海道)
- ⑧ 令和5年5月21日(日) 中部地区 津島市文化会館(愛知)
- ⑨ 令和5年5月21日(日) 九州地区 別府市公会堂 市民会館大ホール(大分)
- ⑩ 令和5年5月28日(日) 中国四国地区 のいちふれあいセンターサンホール(高知)

(2) 地区師範吟詠大会

「地区師範吟詠大会」を感染症対策を講じて、以下の2地区で開催、これを支援した。

- ① 令和5年5月28日(日) 神静地区 小田原市民ホール(神奈川)
- ② 令和6年2月 5日(月) 関東地区 タワーホール船堀(東京)

9 全国吟道大会、全国優秀吟者吟道大会、全国認可団体代表吟道大会

(1) 全国吟道大会

① 全国吟道大会

「第133回全国吟道大会」を感染症対策を講じて、令和5年10月15日(日) フェニーチェ堺(大阪)において開催した。全国より出吟者・入場者1,865名が参加した。合吟競吟の最優秀チームには文部科学大臣賞が贈られた。

② 全国俳諧歌吟詠大会

「第9回全国俳諧歌吟詠大会」を感染症対策を講じて、令和5年7月2日(日) 諏訪市文化センター(長野)において開催した。全国より出吟者・入場者554名が参加した。競吟部門の入賞者には木村岳風記念館館長賞・諏訪市長賞等多くの賞が贈られた。

③ 古典の日 吟詠鑑賞会

「古典の日 吟詠鑑賞会」は、事業計画どおり休止した。

④ 全国青年吟道大会

「第9回全国青年吟道大会」を感染症対策を講じて、令和5年8月5日(土) 日暮里サニーホール(東京)において開催し、16歳以上35歳以下の青年吟者・青年OBによる一般独吟のほか独吟漢詩の部・和歌の部の競吟を行った。全国から青年吟者・青年OB・入場者計211名が参加し、競吟部門の優秀者を表彰した。

(2) 全国優秀吟者吟道大会

「第29回全国優秀吟者吟道大会」を感染症対策を講じて、令和5年9月18日(月祝) 川口総合文化センター・リリア(埼玉)において開催し、独吟漢詩の部及び和歌の部と連吟の部の競吟を行った。全国10地区から選出された吟者及び入場者計575名が参加した。各部門の入賞者には、祖宗範木村岳風賞他が贈られた。

(3) 全国認可団体代表吟道大会(全国特別維持会員吟道大会)

「第4回全国特別維持会員吟道大会」を感染症対策を講じて、令和6年3月10日(日) 日経ホール(東京)において開催した。全国より吟者・入場者計402名が参加した。

10 木村岳風記念館・木村岳風墓所の一般公開

この法人の創設者(昭和11年日本詩吟学院創立)である祖宗範木村岳風の生家を保存、管理し、遺品を中心とした歴史資料を展示する木村岳風記念館及び木村岳風墓所を感染症対策を講じて、一般に公開した。

11 その他公益目的事業達成の為の事業

(1) 資格審査及び段伝位等の審査を行った。

(2) 定時社員総会

「第14回定時社員総会」を感染症対策を講じて、令和5年6月15日(木) 吟道会館において開催し、令和4年度事業報告の後、令和4年度貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)並びに財産目録について審議、可決承認された。

(3) 役員合同会議

「令和５年度役員合同会議」を感染症対策を講じて、令和６年３月９日（土）吟道会館（東京）において開催し、令和６年度事業計画・収支予算等を説明、質疑応答を行った。

（４）特別維持会員会議

「第９回特別維持会員会議（吟の総会）」を感染症対策を講じて、令和６年３月９日（土）吟道会館（東京）において開催し、令和６年度事業計画・収支予算等を説明した。その後、吉崎一衛二松學舎大学名誉教授による「日本漢詩」の講演が行われた。

（５）認可団体等連絡会議

「令和５年度認可団体等連絡会議」を感染症対策を講じて、全国１０地区で開催し、総本部役員と地区担当理事及び当該地区の認可団体代表者等が参加し、意見交換を行った。

- ① 令和５年７月１３日（木） 近畿地区 ホテルアウリーナ大阪（大阪）
- ② 令和５年７月２７日（木） 長野地区 木村岳風記念館（長野）
- ③ 令和５年７月２９日（土） 中部地区 甚目寺町町民会館（愛知）
- ④ 令和５年８月 ２日（水） 東北地区 マリオス（岩手）
- ⑤ 令和５年８月 ３日（木） 関東地区 吟道会館（東京）
- ⑥ 令和５年８月 ９日（水） 北陸地区 高岡市生涯学習センター（富山）
- ⑦ 令和５年８月２４日（木） 北海道地区 北海道立道民活動センターかでの２・７（北海道）
- ⑧ 令和５年８月３０日（水） 九州地区 福岡リーセントホテル（福岡）
- ⑨ 令和５年８月３１日（木） 中国四国地区 岡山国際交流センター（岡山）
- ⑩ 令和５年９月 ７日（木） 神静地区 吟道会館（東京）

（６）研修会

「参事・幹事研修会」は中止した。

（７）認可団体新設認可

令和５年度は、認可団体設立申請はなかった。

（８）認承団体新設認承

認承団体設立の申請に基づき、福山岳風会（令和５年１０月１日付）を認承団体として認承した。

（９）ホームページの活用

以下の目的を充実するため、ホームページにて情報を公開及び発信し、随時更新した。当該年度中の閲覧者数４４，１８９件。

- ① 広報活動と情報公開の一環として、学院の紹介及び活動状況の報告並びに大会等事業の募集案内等を掲載する。
- ② 吟詠を学びたい不特定多数の者に対し、当学院の認可団体及び認承団体の教室を紹介する。
- ③ 機関誌『吟道』の「巻頭詩」等、吟詠を視聴できるコーナーを設ける。

（１０）渉外活動

官公庁・報道機関その他関係機関との情報交換及び文化団体との交流を図った。

（１１）教本等に関する質問への回答

教本の内容等に関する疑義等は、原則、団体の指導者を中心に研究するものだが、不明な場合は団体代表者より質問を書面で受け付け回答した。

（１２）公益目的事業を達成するため、感染症対策を講じて、定時社員総会ほか業務執行理事会・理事会並びに各委員会・各局・各部等の会議を５４回開催した。

（１３）吟道会館の運営

詩歌吟詠を受け継ぐ指導者の育成と吟道普及の拠点とし、また、吟詠関連の各種資料及び関係書類の整理・保管・管理を行うため、感染症対策を講じて、「吟道会館」を運営した。

「吟道会館」の維持・管理のため、寄付を団体及び会員並びに一般より受け付けた。

（１４）木村岳風記念館（吟道研修センター）・祖宗範木村岳風墓所の維持及び管理並びに木村岳風記念館・祖宗範木村岳風生家所蔵資料の整理、保管及び管理を行った。

（１５）その他

その他、当学院の公益目的事業達成に必要な事業を行った。

Ⅱ 収 益 事 業

収益事業 公益目的事業を支えるための補助事業

収益事業１ 吟詠ＣＤ・ＤＶＤ及び詩吟啓発物品の作成頒布事業

- １ 吟詠ＣＤなど、各種教材等を作成し、希望者に頒布した。
- ２ 詩吟の副教材として以下の頒布品を希望者に頒布した。
 - (１) 書 籍 『木村岳風』(通称「岳風伝」)、『詩歌作者事典』等。
 - (２) ＣＤ・ＤＶＤ等 「吟聖木村岳風ＤＶＤ」、「松井岳洋愛吟韻読抄」等。
 - (３) そ の 他
- ３ そ の 他
学院証、会員バッジ、吟マーク入り賞状用紙、ネクタイ、扇子等。

収益事業２ 詩吟の技量審査による段伝位等の認定及び認定証（許證）を交付する事業

- １ 認定証（許證）発行
認可団体の資格審査申請に基づいて、昇級（少年少女）・昇段伝位及び師範位の資格審査が行われ、級段伝位（８，０１５名）、師範位（３５８名）の合格者に認定証（許證）を交付した。

Ⅲ その他の事業

その他の事業 1 近代吟詠の祖 木村岳風回忌法要及び功労物故者会員の合祀（岳風忌）事業

1 岳風忌

「木村岳風先生 72 回忌法要及び宜子夫人 58 回忌法要並びに日本詩吟学院功労物故者会員合祀祭」を感染症対策を講じて、令和 5 年 7 月 1 日（土）、長野県諏訪市地藏寺において執り行い、祖宗範木村岳風先生ご夫妻の法要と功労物故者会員 133 柱の合祀を行った。

参列は関係役員および遺族等とした。

その他の事業 2 詩吟関係の功労者等の顕彰事業

1 顕彰

（1）冠稱

永年に亘り学院の発展に寄与し、特に功績の顕著な者に、冠稱（宗帥 7 名・宗匠 23 名・宗佑 73 名）を贈った。

（2）功労者表彰

吟道顕彰者（功労者の部 82 名・ボランティアの部 18 名・寿百歳の部 11 名・寿九十歳の部 335 名）の表彰を行った。

（3）高校生表彰

小学校から高校まで継続して吟詠活動を行っている高校生会員 33 名を表彰した。

（4）その他

① 詩歌吟詠の普及向上等に多大に寄与した者に対し、顕彰・慶弔規程の定めるところにより顕彰した。

② 会員増強（純増）前年比一定以上を達成した 1 団体（はまゆう吟詠会）を表彰した。

2 その他

その他、当学院の目的達成に必要な事業を行った。